

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
7	吉川 隆之（2）	<p>1. サイクルツーリズムの推進と、拠点施設の整備について</p> <p>2020年1月に誕生した自転車ロードレースのプロチーム、レバンテフジ静岡は、その拠点を富士市に置き、地域密着型チームとして活動を開始。静岡県東部・伊豆地域を中心にしたスポーツサイクルによる地域創生を念頭にコロナ禍に苦慮しながらも自転車を活用した様々な活動に取り組んでいる。レバンテフジ静岡が所属するプロサイクルロードレースの開催案も浮上している。</p> <p>サイクルツーリズムの推進に向けての条件が整いつつあるが、サイクルツーリズムの推進は観光振興のみならず、本市が力を入れているシティプロモーションや人口流入、企業誘致などの課題解決において、多大な効果が期待されている。</p> <p>これらの状況から、チャンスを逸することがなきよう喫緊に取り組むべきと判断される課題を中心に以下5点を質問、回答を得たい。</p> <p>(1) 市は、レバンテフジ静岡に活動拠点施設として八代町の市有施設を提供しているが、プロチームの活動や、より効果的なPRと観光の振興のために、現在整備中のサイクルステーションのほかに、同様の機能を持つ施設を、富士市の玄関口である新富士駅、または富士駅に設けてはどうか。</p> <p>(2) 今後、サイクリングを楽しまれる方の増加が予想される。これに伴い安全に走行できる自転車走行空間の整備が強く求められてくることが推測されるが、自転車走行空間について、どう考えているか。</p> <p>(3) サイクリストが市内を散策走行する上で、情報取得、空気入れの設置、休憩場所などを提供する自転車利用者に優しい取組が必要になる。富士市には、民間活力を生かす形で休憩場所、トイレなどを提供する、61駅が加盟するまちの駅ネットワークが開設されているが、まちの駅にサイクルピットの機能を加えてはどうか。</p> <p>(4) 市内の自転車観光用に、サイクルマップが作られているが、走行中には見ることができないため、サイクリストは自転車NAVI等のアプリを利用していると聞く。富士市、富士山周辺も含め、観光名所、休憩所などの情報を表示できるアプリとの連携を検討してはいかがか。</p> <p>(5) ナショナルサイクルルートとして認定されている、つくば霞ヶ浦りんりんロードや、しまなみ海道サイクリングロードのように、市域を越えて富士山の下で走る長距離のサイクルコースを周辺自治体と連携の上設定し、全国から人が集まるサイクリストの聖地を目指してはいかがか。</p>	市長 及び 担当部長